

教育学研究科学校教育実践高度化専攻（教職大学院）

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

鹿児島大学大学院教育学研究科学校教育実践高度化専攻は、全学の学位授与の方針及び教育学研究科の教育目標に鑑み、以下に挙げる能力を身につけた者に専門職の学位を授与する。

- ・学校教員に求められる職務を責任感と倫理観をもつて的確に実践できる能力
- ・学校のエデュケーションに対し、学校の一員として協働して取り組み対応できる能力
- ・自らの実践を理論に基づいて省察できる能力
- ・アクティブ・ラーニングの視点から授業改善やカリキュラム・マネジメントを考えることができる能力
- ・学校教育に係る課題を設定し、解決のための方策を探究できる能力

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

鹿児島大学大学院教育学研究科学校教育実践高度化専攻のカリキュラム・ポリシーの構成

1. 進学から学位取得に至るまで系統性のある教育課程の編成
 2. 目的・目標に応じた方法による教育の実施
 3. 厳格な成績評価の実現
- の3種類からなる。

1. 進学から学位取得に至るまで系統性のある教育課程の編成

将来、学校において指導的役割を担うことのできる深い学識、卓越した「省察する力」「コミュニケーション力」などの能力、及び責任感と倫理観をもった高度専門職業人としての教師を育成するため、系統的・横断的で、授業科目相互の有機的連関を図るカリキュラムを、以下のように編成する。

- ① 教師の専門業務に必要な学術的知見や実践的知見を体系的に学ぶことのできる5領域から成る「共通科目」を編成する。
- ② 附属学校園及び学外の学校や関係機関との連携のもと、地域における特色ある教育活動や経営活動、連携の実践について学ぶとともに、自校や実習校において探究課題に係る実践や検証を進めることのできる「実習科目」を編成する。
- ③ 「共通科目」「実習科目」「選択科目」における学びを省察しつつ統合し、自己の課題や学校・地域の教育課題、現代的な教育課題等に係る解決の方策を探究することをねらいとする「省察科目」を編成する。
- ④ 個々の学生の問題意識や関心に沿って課題探究を進めることができるよう、3つの履修プログラム（「教科教育（教授—学習） 研究プログラム」「学校研究プログラム」「特別支援教育プログラム」）ごとに体系化した「選択科目」を編成する。

2. 目的・目標に応じた方法による教育の実施

ディプロマ・ポリシーに掲げる能力育成という理念のもと、各科目で教育・学修目標を明確に定め、これらの目標を達成するための最適な教育方法を工夫、考案し、実践する。

3. 厳格な成績評価の実現

各科目で明確に定めた教育・学修目標、教育方法と一体化した評価基準を作成し、適正な成績の評価を行う。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

1. 求める人材像

教育学研究科学校教育実践高度化専攻では、次のような人材の入学を期待しています。

- ・学士としての確かな基礎学力と教職における基本的な知識・技能を有し、教育職員一種免許状を有している人、または取得見込みの人
- ・教師としての明確な問題意識・関心を持ち、幅広い教養と柔軟な思考力を持つ人
- ・教職実践力を高める上で必要な、「コミュニケーション力」「指導力」「協働力」を有している人

2. 入学前に身につけておいて欲しいこと

- ・学士レベルの基礎学力と教職における基本的な知識や技能
- ・教職や学校現場の諸問題に関心を持ち、多様な観点から考えられる力
- ・様々な他者とコミュニケーションをしたり、協働したりできる力

3. 入学者選抜の基本方針

入学者選抜に際しては、求める人材像のうち、学士としての確かな基礎学力と教職における基本的な知識・技能、及び 教師としての明確な問題意識・関心、幅広い教養と柔軟な思考力については、小論文及び口述試験により判定します。また、教職実践力を高める上で必要な、「コミュニケーション力」「指導力」「協働力」については、口述試験により判定します。